

福島ロータリークラブ会報

vol. 13

2018.11.1 thu



http://www.f-rotary.com/

【事務所】福島市栄町5-1 ホテル辰巳屋7F【例会日】木曜日 12:30

【TEL】024-524-1010【FAX】024-524-1011

【mail】f-rotary@guitar.ocn.ne.jp info@f-rotary.com

18-19年度スローガン「融和と進化」

本日の
プログラム

米山記念奨学生スピーチ

米山記念奨学生 カウンセラー 相良元章 会員

米山記念奨学生 ヴォ ティ テュ ハー さん

会長あいさつ



2018-19年度会長 浦部 博

先週は、最も重要なプログラムでもある、ガバナー公式訪問がありました。みなさまのお蔭で、福島ロータリークラブの面目が大いに上がった素晴らしい内容の公式訪問例会となりました。

さて、毎月第一週は理事会が行われますが、重要な事項について、改めてお知らせをしたいと思います。

一つは、辰巳屋さんの終業にともなう、「**例会場の移転について**」ですが、10月理事会におきまして、2019年度7/4(木)の第1回例会から「サンパレス福島」に会場変更すると正式に決定いたしました。会場的にはほぼ問題はありますが、心配しておりました駐車場問題も地下の35台以上は、すぐ裏と向いの契約Pの3時間サービス券で対応するというので安心しております。

また、例会費が毎回一人200円ほど高くなりますが、これは同じ会場を利用している南クラブさん、21クラブさんと同額ということで、通常の運営費の範囲内であると紺野会計さんにも了承を頂いております。

なお、事務局移転の問題もありますが、これは2020年迄ともう少し猶予がありますので、連携クラブとも協議しながら決めていきたいと思っております。

もう一つは、**青少年育成事業**として、東稜高校のIACを中心とした生徒たちと「信夫山の魅力と多様性」を学び、それを地域社会に発信しよう、という活動を行うこととなりました。

11/17(土)に「おもしろ信夫山学」という寄付講座を行いまして探索会も行います。これは「**ロータリーの公共イメージと認知度の向上**」というテーマにも挑戦するので、活動の広報にぜひ媒体各社のご協力をお願いして、市民に情報発信を行っていききたいと思っております。

また、東稜高校には県内でも有数の450mmの反射望遠鏡がありまして、信夫山という小惑星も存在します。

そこで、来年2/24(日)には、生徒たちの発表会と「**信夫山と・星空映像と・音楽のコラボイベント**」を駅前こ

例会次第

開会点鐘 浦部 博 会長

国歌斉唱

ロータリーソング「奉仕の理想」

ソングリーダー 菅沼 裕 会員

「四つのテスト」唱和 清水太郎 会員

会長あいさつ 浦部 博 会長

お客様並びに来訪ロータリアン紹介

米山記念奨学金 11月分給付

11月誕生祝い

食事

幹事報告 増子 勉 幹事

各委員会報告

■IT戦略・雑誌小委員会

*「友」11月号紹介 鈴木 仁 委員

■戦略計画委員会

古俣 猛 委員長

■プログラム・ニコニコBOX小委員会

ニコニコBOX担当

箱岩 偉 小委員長

■本日のプログラム

閉会点鐘 浦部 博 会長

むこむプラネタリウムで開催いたします。多くの地域の人々にこの活動を広報していきたいと考えております。

それに関連して、10/23(火)の「TENの会」で各支店長さん、若手の会員みなさんに**信夫山の探索会**をやりましょう。お昼は護国神社まへの「日本料理くろ沢」で、楽しく懇談しようとお誘いをしました。11/11(日)に開催しますので、ぜひぜひご参加ください。

なお、今日は米山奨学生ヴォ・ティ・テュ・ハーさんのスピーチを予定しておりますので、皆さん楽しみにお待ちください。

米山記念奨学生スピーチ

ヴォティチュハーさん



自分の人生が変わった なぜ、日本なのか？

私は高校生の終わりくらいの時に、大学受験のことで悩みました。両親が希望する進路と自分のやりたいことの違いからです。私の両親は学校の先生で、私は5人姉妹の末っ子です。お姉さんたちで先生をしている人は一人もいません。お母さんから、お父さんのように学校の先生になってほしいという話がありました。私が学校の先生になるため、教育系大学に入りたいと言われました。一方、お父さんには医科大学の方がいいと言われました。私だけではなく、両親の間にも悩みがありました。

高校3年生の頃、友達とゲーアン県の西の方、高い山がある風景が綺麗なところに行きました。しかし、景色ではなく、そこの人々の貧しい日常生活にショックを受けました。電気もなく、食品から衣類に至るまで不自由で貧しい状況でした。学校に行けず、家事、子育てなど両親の仕事を手伝う子供たちがたくさんいます。生活費が足りず、学校に行くとお金がかかり、働き手が減ってしまうと聞きました。その学校に行ってみると、小学校の1年生から5年生までの生徒は20人くらいです。そして、学校は先生が1人か2人だけで、インフラに必要な予算もなく、何もない環境でした。私が行ったときは2月で気温は8度ぐらいなのに、汚れている私服が一枚、膝ががたつきました。

これをきっかけに、県内の色々なところに行って、国内の行けないところには衣類、お金を寄付し送ってあげました。最初は個人的にやりましたが、やはりお金の問題で長く続けることができませんでした。どうすればいいのかと思った上で、友達、知り合いなどに声をかけて、みんなに協力してもらいました。そして、高校を卒業しても続けたいと思い、大学を受験するつもりはありませんでした。

その後何度も訪問してきたところ、出会った女の子と仲良くなり、夢、やりたいこと、悲しい話などお互いに話をしました。その子はアニメが大好きでしたが、テレビがなく、週一回土曜日の夜に村の子供たちが集まって、アニメを見ることができます。日本のアニメだったそうです。その子の夢は日本に一度行くことです。しかし、日常生活はこのように不自由で、学校に行くお金がないのに日本に行くことなんか無理でしょう。そして、その子が7歳の

時、ちょうど私が高校3年生の後期の始まりの時でした。その子が小児麻痺という病気にかかりました。そのため、日本に行くことはできなくなりました。

そしてその子は泣きながら、「お姉さん、私の代わり日本に行って日本の写真を撮って来てくれない？」とその子に頼まれました。大学に行きたくもない、自分のやりたいこともよく分からなかった私はよく考えた上で、お母さんに日本に行きたいと話してみました。お母さんやお父さん、お姉さんたちからも反対はなく、しかしその代わり、大学受験はしなさいとお母さんに言われました。その後、大学受験の3ヶ月前に必死に勉強し、私は大学に合格。日本に留学することも実現できました。その子と出会ってから、自分の人生が変わったと、私は今までも思っています。

ベトナムでは、日本の様に農村でも、都市でも、スーパー、インフラなど何でもある国ではありません。多分、皆さんはハノイ、ホーチミン、ダナンなど観光地だけしか分からないと思いますが、ベトナムの西ともっと北の方に行くと、農村と都市の経済差が分かります。

なぜ、福島なのか？

私は高校時代から、福島県の2011年に発生した東日本大震災と原発事故により、非常に大きな被害を被ってしまったことを知り、ずっと福島に行きたいと思っていました。私の国、ベトナムでも多くの天災がありますが、天災後のインフラを復旧し、日常生活を取り戻す速度は非常に遅いです。そして、ベトナム戦争が終わってから、もう数十年が経ちましたが、全国の色々なところでは、人々の生活はまだ安定せず、大変困難な状況です。

日本ではそうではありませんが、福島の大震災、原発事故後の廃墟の中からの立ち上がり方を見聞きしようと思いました。家族をその東日本大震災と原発事故で失った人の嘆きは想像できませんが、その苦痛を察し、福島県の地域の方々と話したいと思いました。

これから、やりたいこと？

私のゼミの授業の内容は現在福島県内の農業、米からの焼酎などに絡めた実践的なものであり、企業経営の専攻の人でも、国際地域専攻に関わる地域づくりを学びたい者にとって非常に恵まれた環境であることを実感しています。私も福島県内の地域づくりを勉強して、これからしっかり身に付け、社会に出ていきたいと思っています。それが実現できたら、自分の出身地でも、農業、農産物の第2、3商品を作り、もっと県民の方々の生活が充足できるように頑張りたいと思います。

RI第2530地区2018-19年度

青少年奉仕委員会 セミナー報告

2018年9月15日(土)

場所: ユラックス熱海



増子 勉 幹事

地区青少年奉仕セミナー(廣澤俊樹委員長)が9月15日(土)、平井義郎ガバナー始め地区委員、青少年委員会、各クラブから総勢160名の参加者のもと開催され、以下の活動方針が確認されました。また、RYLA、RAC、IACの活動の様子が披露されました。

2018-19年度 青少年奉仕委員会の方針

1. 青少年奉仕プログラムの支援

(1) インターアクト

ロータリークラブが提唱する**12歳～18歳の青少年のリーダーシップ**や、奉仕の精神を養うためのクラブ。17つの高校、2つの中学校、1つの専門学校のクラブがあります。

今年も新クラブ提唱をサポートし、ロータリークラブとインターアクトクラブの連携を推奨します。

(2) ローターアクト

ロータリークラブが提唱する**18歳～30歳の青年たちのリーダーシップ**や、奉仕の精神を養うためのクラブ。3つの大学生クラブ、4つの社会人クラブがあります。

今年も新クラブの提唱、特に未提唱地区に於ける提唱をサポートし、ロータリークラブとローターアクトクラブの連携を推奨します。

(3) RYLA (ロータリー青少年指導者養成プログラム)

地区が行う、**18歳～35歳程度の中高校生、大学生、社会人を対象とする地域リーダーシップ**を養成するためのプログラムです。多くの参加者(ロータリアンも含め)を得、有意義な会議とします。

※各クラブが、青少年奉仕活動への理解を深めて頂くためのサポートをします。

※ロータリー活動を通し、青少年がリーダーシップや奉仕の精神を養い、人間としての成長をサポートします。

2. 会長賞の受賞サポート(以下青少年奉仕関連項目)

(1) インターアクトクラブの提唱、他クラブとの共同提唱。

(2) ローターアクトクラブの提唱、または他クラブとの共同提唱。

(3) インターアクトクラブとロータリークラブの共同プロジェクトの実施。

(4) ローターアクトクラブとロータリークラブの共同プロジェクトの実施。

(5) クラブが少なくとも1名のRYLA参加者を派遣。

■「ロータリーの友」11月号のご紹介

IT戦略・雑誌小委員会 鈴木 仁 委員



【注目記事】

●横組みP8～P13

特集 世界でよいことをしよう

ロータリー財団が直面する課題の紹介、基金や補助金のより効果的な使用についての提言等。

●横組みP14～P15

四つのテストに照らした平和の構築を

「八角平和計画」と称するミャンマーの山岳民族が住む地域で展開している中国料理の代表的な香辛料のひとつである「八角」からインフルエンザの治療薬「タミフル」を製造する取り組みを紹介。タミフルの増産につながるとともに、内戦や貧困、麻薬、自然破壊で社会が崩壊してきた少数民族の収入源ともなり、地域に平和と安定をもたらす。ロータリアンに「八角平和計画」で植樹した八角の木「株主」となるよう呼びかけ、問い合わせ先も記載。

●横組みP18～P27

ポリオ撲滅に向けた取り組みと課題

かつて米国のルーズベルト大統領も罹ったポリオ(日本におけるワクチン接種推進でNHKもキャンペーンを展開)について、図解をふんだんに使い、わかりやすく伝えている。現在でも「常在国」として残るのはアフガニスタン、パキスタン、ナイジェリアという紛争国であり、テロ組織(タリバン、ボコハラム)が横行する国(十分な撲滅活動ができない)→平和と安定の大切さをあらためて実感。

●縦組みP4～P8

児童虐待の実情

著者(長崎県大村市の児童養護施設の副施設長)の施設はもともと、戦争孤児や身寄りのない子供たちの保護養育を目的として創設されたが、現在では施設で生活している子供の約6割が家庭内での虐待を理由に入所している。また、最近問題になっているのが「子供の貧困」であり、日本の子供の7人にひとりが「貧困状態」にあり、OECD加盟国の中でも極めて悪い水準。イギリスやアメリカでは7割近くが「里親」による養護なのに対し、日本ではほとんどが施設で子供を保護している状態。小さいころに子供と養育者の一対一の関係が築かれることが心身の発達に望ましい。文化の違いを乗り越えていく必要がある。

11月誕生祝い

～おめでとうございます～

佐藤 順一 会員
昭和23年11月1日
佐藤 英典 会員
昭和21年11月7日
菅沼 裕 会員
昭和38年11月8日



江花 亮 会員
昭和10年11月10日
内池 浩 会員
昭和18年11月22日
佐藤 良智 会員
昭和49年11月28日

米山記念奨学金 11月分給付



●米山記念奨学生

ヴォ ティ テュ ハーさん

例会変更のお知らせ

■福島西RC、11/5(月)の例会は、11日(日)JRA移動例会へと変更になっております。

その他のお知らせ

- 本日17:30より指名委員会が開催されます。歴代会長の皆様、宜しくお願いします。18:00からは11月理事会が開催されます。その後、指名委員会との合同懇親会になりますので宜しくお願いします
- 11月ロータリーは1ドル112円となりますのでお知らせ致します。

私のひとこと

猪苗代湖水草回収について



内池 浩 会員

10月13日、社会奉仕委員会の事業である猪苗代湖水草回収事業が晴天のもと会員、インターアクト、ローターアクト、中合さんと総勢38名のご参加で行われました。

この事業はもともと2530地区の事業として始まり、またその前身は福島RCが中心になって始まった「あぶくま清流協議会」です。そんな訳で当クラブからは毎年多くの皆さんにご参加いただいております。

大変に地味な作業ではありますが、猪苗代湖が再び日本一の水質に戻るよう、福島RCとしても、今後も引き続き取り組むことが大切であると思います。



例会プログラムのご案内

11月15日(木)

12:30～ 辰巳屋

【通常例会】

新会員スピーチ 猪島光典 会員スピーチ
(SMBC日興証券福島支店長)

11月22日(木)

祝日の週の為休会

11月24日(土)

地区大会

11月29日(木)

地区大会のため11/24へ振替

ニコニコBOX 報告

本日のニコニコBOX投入額 23件 ¥74,000 累計¥725,000

【報告】 箱岩 偉 小委員長

丹治 正博 会員

過日の父の葬儀に際しましては、多くの会員の皆様よりお心の籠もった御弔慰を賜るとともに、会員・事務局有志の皆様方に受付のご助勢を頂きました。お陰をもちまして、葬儀一切を無事に営むことが出来ました。皆様より寄せられました友情に対し、幾重にも感謝を申し上げます。

小原 敏 会員

来たる11月9日、お陰様で本校創立60周年式典を迎えることができます。今後共変わらぬご支援をご指導賜りますようお願い致します。

黒崎 浩一 会員

先週の休日に一日で蔵王、米沢、あだたら山、二本松菊人形のコース約280kmドライブを楽しみました。来年はもう少し早く回りたいと思います。

後藤 浩之 会員

いよいよ11月3日から秋の福島競馬が始まります。またロータリークラブの皆様においては「競馬を楽しむロータリアンの会」が17日に開かれます。多くの皆様のご来場をお待ちしております。

白岩 康夫 会員

先週の木曜は、自動車運転免許証の更新をすることが出来ました。有効期限3年間は頑張りたいと思っています。

菅沼 裕 会員

本日で福島RC入会6年目になりました。楽しくロータリー活動をさせて頂いております。これからも宜しくお願い致します。

中山 興 会員

先日、りんごを色々試食する機会がありました。寒くなりましたが、福島産の美味しく可愛いりんごが大好きですので、楽しい季節となりました。新作の福島県新銘柄「べにこはく」も楽しみです。

幡 研一 会員

ヴォ ティ テュ ハーさんのスピーチ楽しみです。

クラブ会員より 安藤健次郎/今井理基夫/内池 浩/岡田新也/加藤義朋/五阿弥宏安/古俣 猛/佐藤康太郎/佐藤良智/茂田士郎/反後太郎/坪井大雄/増子 勉/森岡幸江/吉田大樹